

土砂災害防止法に関する取組の推進について

1 経緯

平成 26 年 8 月豪雨により発生した広島市の大規模土砂災害を踏まえ、土砂災害防止法改正の法案が、昨年 11 月 12 日、参議院本会議で可決・成立し、同月 19 日に公布され、1 月 18 日に施行される予定です。

当該法律改正は、土砂災害から国民の生命及び身体を保護するため、都道府県による基礎調査の結果の公表を義務付けるとともに、土砂災害警戒区域における警戒避難体制を整備する等の措置を講ずることを大きな目的としています。

2 土砂災害防止法の主な改正内容と本県の対応状況等

主な改正内容	本県の対応状況等
(1) 基礎調査制度の拡充 イ 都道府県に対し、基礎調査の結果を公表することを義務付ける。 ロ 国土交通大臣は、基礎調査が適正に行われていない場合において、講ずべき措置の内容を示して是正の要求を行う。	イ 土砂災害危険箇所の 基礎調査を推進し、調査結果を順次公表する。 ロ 法改正により、 今後 5 年程度での基礎調査完了 を求められる見込みであり、早期の完了に向けて取組を進めていく。
(2) 土砂災害警戒区域における警戒避難体制の整備 市町村防災会議は、土砂災害警戒区域の指定があったときは、市町村地域防災計画において、当該区域ごとに、避難場所及び避難経路に関する事項等を定める。	・地域防災計画に位置付けていない市町村もあり、内容にもばらつきがある。 ・土砂災害防止研修会や防災担当者会議等の様々な機会を通して、 土砂災害警戒区域指定後の警戒避難体制の構築について、継続的に要請していく。
(3) 土砂災害警戒情報の提供の義務付け 都道府県知事は、避難勧告等の判断に資するため、土砂災害警戒情報を関係のある市町村の長に通知するとともに、一般に周知させるため必要な措置を講じなければならない。	・土砂災害警戒情報の発表市町村に対し、総合防災情報ネットワークにより通知するとともに、ファックス送信による伝達を行っている。 ・県民に対しても、 県ホームページ上の土砂災害警戒情報システムより情報を提供している。

<p>(4) 土砂災害に係る避難勧告等の解除に関する助言</p> <p>市町村長は、土砂災害に係る避難勧告等を解除しようとする場合において、国土交通大臣等に対し、助言を求めることができることとし、求められた場合は、必要な助言をする。</p>	<p>・市町村から避難勧告等の解除に係る助言を求められた場合の対応について、今後、具体的な助言の方法等について検討していく。</p>
<p>(5) 地方公共団体への援助</p> <p>国土交通大臣は、この法律に基づく事務が適正かつ円滑に行われるよう、都道府県及び市町村に対する必要な助言、情報の提供その他の援助を行うよう努めなければならない。</p>	<p>・基礎調査費の国庫補助率の拡大、財政的支援等を継続的に要望していく。</p> <p>(現行の国費率1／3の嵩上げ、地方負担額の起債充当、特別交付税の措置)</p>

3 今後の取組等

(1) 基礎調査の推進及び結果の公表について

- ・改正土砂災害防止法の趣旨に基づき、土砂災害の危険のおそれのある箇所を早期に住民等にお知らせするため、これまで以上に基礎調査を推進し結果を早期に公表する。
- ・公表の方法については、県・市町村のホームページ、県出先機関及び各市町村での書類閲覧を基本とし、さらに該当する地域については、印刷物で市町村広報誌等と併せての配布、地区回覧板での回覧等、県と市町村が連携しての周知作業の御理解と御協力をお願いしたい。

(2) 土砂災害危険箇所の再確認と結果の公表について

- ・平成12年に公表した土砂災害危険箇所については、近年、地形改変等の経年変化が生じていることや、危険箇所以外においても土砂災害が発生していることから、今年度から2カ年で危険箇所の再確認等調査を実施し、来年度末に結果を公表することで進めている。
- ・基礎調査の結果の公表と併せて、市町村と連携して住民への周知作業を進めたい。

(3) 土砂災害警戒区域等の早期指定について

- ・土砂災害警戒区域・特別警戒区域への指定についても、県と市町村が連携して地域への住民説明会開催等について引き続き御協力頂きたい。

(4) 土砂災害警戒区域等における警戒避難体制の整備について

- ・各市町村の地域防災計画への記載の推進をお願いしたい。
- ・避難所、避難経路の設定、土砂災害ハザードマップの作成の取組みを各市町村に引き続きお願いしたい。ハザードマップ作成に係る地図情報等の情報提供等について、県でも作成支援を行っていく。

(5) 国に対する各種支援の要望について

- ・土砂災害対策にかかるハード及びソフト施策の推進について、各市町村と引き続き連携しながら国に対して各種支援の要望等を様々な機会を通じて行っていくので、御理解と御協力をお願いしたい。